





玉置 伸二副院長

## コロナ禍での2回目の夏を迎えて

昨年の初めには思いもしていませんでしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）はわが国においても猛威を振るい、終息の糸口は残念ながら見えていません。ワクチン普及による効果を期待したいところですが、新たな変異株の流行も気になるところです。東京オリンピックの影響はどうなっているのでしょうか（この原稿は7月11日に書いています）。昨年も「りえぞん」でお願いしましたが、今年こそ私たちの病院とゆかりも深い薬師寺のご本尊である薬師如来さまのお力をお借りしたいところです。

当院では重症心身障害児（者）、筋ジストロフィーを含む神経難病患者さんなどに対するセーフティーネットワーク系医療を担当しており、これらの患者さんに対するCOVID-19対策を行っています。これらに加えて当院では、県からの要請により帰国者・接触者外来（新型コロナウイルス感染症外来）、疑似症患者に対する外来・入院診療、COVID-19診断確定例に対する入院診療（軽症から中等症）を行ってきました。また近隣の医療機関の皆さんや地域住民の方々に対するワクチン接種にも取り組んできました。いわゆる「国難」であるCOVID-19への対応は、私たちが所属する国立病院機構の使命ではありますが、向後も地域医療に対する貢献の一貫としてより積極的に取り組んでいきたいと思えます。

さて私が奈良医療センターに赴任してから、早いもので丁度10年が経過しました。年齢も重ねて参りましたが、当院を取り巻く環境も大きく変わってきました。向後は当院の重要な使命でもありますセーフティーネットワーク系医療の診療、重点的に取り組んでおります脳神経疾患、呼吸器・アレルギー疾患などに対する診療をさらに充実させ、同時に地域包括ケアシステムを支える「面倒見のいい病院」として地域住民の皆さまに愛される病院をめざして行きたいと思えます。

思い返せば私は10年前の着任時に、恵まれた自然環境への感動したこと、そして敷地内で「カブトムシ」を捕獲することができ長男に自慢ができたことを「りえぞん」に寄稿させて頂きました。長い時間が流れて、当時小学校5年生だった長男も今年20歳になります。息子が大きくなり、ムシたちに興味を示さなくなってからこの素晴らしい環境をゆっくり味わうことが少なくなってきました。日々の生活に追われて自然環境を楽しむゆとりもなくなっていたのかもしれない。先日久しぶりに当院敷地内の「森」を訪れてみましたが、季節的な問題か、または道路の拡張工事の影響か「妖精たち」に再び会うことはできませんでした。日常業務のかたわらで、これからは少し早起きして（勤務ではありませんので・・・）、素晴らしい薬師寺の景色を眺めながら、以前のように院内の敷地の中で色々な出会いを楽しみたいと思えます。スマホの中で眠っていた、当院でこれまでに出会った「妖精たち？」をほんの少しだけご紹介させて頂きます。

コロナ禍の状況ではありますが、職員一同の力を今一度結集し、地域の皆さんが安心してお任せ頂けるような病院環境を作って参りたいと思えます。今後とも何卒よろしくお願い致します。



梅雨空と大池からの薬師寺です



当院のさくらと薬師寺です



ヒヨドリ?とも遭遇しました



捕獲したカブトムシです。  
この時は息子も喜んでくれました



秋の訪れはコオロギが教えてくれます



大きなミドリガメは  
どこからやってきたのでしょうか？



ネコの後をついて行くと、  
現実社会には戻れないかもしれません



## 部門紹介

### 検体検査と生理機能検査

臨床検査部門は病気の診断と治療経過の観察結果を数的・客観的なデータとして提供することを目的とする分野です。検査部門は検体検査と生理機能検査に二大別されます。

生理機能検査部門は生体の生理学的働きを直接的に人体機能として測定し、生体からの生理機能情報を収集、解析そして評価を行う部門で、心電図、呼吸機能検査、超音波検査、聴力検査、脳波検査などがあり当院職員による検査として実施されています。

一方、検体検査部門は尿、血液、糞便、髄液、穿刺液、その他の体液などを化学的、形態学的に検査する部門です。検体検査部門は一般検査、生化学検査、血液検査、免疫血清検査、輸血関連検査、病理検査、細菌検査により構成され、当院では外部委託業者による検査として実施されています。

#### 生理検査室

生理機能検査とは、各種医療診断機器を用いて生体から直接、情報を抽出する検査法であり、心電図、脳波、呼吸機能検査および超音波検査などに代表されます。

#### 1. 心電図検査

主として不整脈疾患、虚血性心疾患の診断に用いられます。通常の安静時心電図のほか、24時間装着し

記録するホルター心電図などがあります。

## 2. 呼吸機能検査

スクリーニング検査として、肺活量を中心としたスパイロメトリーのほか、精密検査として、機能的残気量、肺拡散能力などを検査します。また、気管支拡張剤を吸入して検査を行う場合や、呼気中の一酸化窒素を測定してぜんそくの有無を調べる検査があります。



## 3. 超音波検査（肺、骨を除くあらゆる臓器が対象となります。）



心エコー 主に心臓の大きさ、壁の厚さや動き、弁膜症の有無、心臓機能などを調べます。

腹部エコー 主に肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓に異常がないかを調べます。

下肢静脈エコー 下肢の静脈にできた血栓（深部静脈血栓）の有無を調べます。

## 4. 睡眠時無呼吸検査

睡眠中の呼吸の状態や血液中の酸素飽和度を検査します。自宅で検査ができるスクリーニング検査と、入院して検査を行う精密検査があります。

## 5. 聴力検査

どれくらい小さい音まで聞きとれるか、色々な音の高さにわけて調べます。



## 6. 脳波検査

脳が活動すると、脳の中には微弱な電気が流れます。その電気的な変動を頭部につけた電極でとらえ、波形として記録し脳の働きを調べるのが、脳波検査です。

## 7. 長時間ビデオ脳波

通常の短い脳波検査では、てんかん発作時の異常脳波を記録することが難しい場合、長時間にわたりビデオ撮影と脳波測定を行い、異常を調べます。

### 検体検査

血液検査、化学検査、免疫検査、一般検査などがあり、生体から採取された様々な検体（血液・尿・便・穿刺液など）を総合的に検査します。



### 血液検査

血液学的一般検査（赤血球、白血球や血小板の数、形態分類）と血液凝固・線溶検査などがあり、血液疾患の診断と治療経過の観察に用いられています。

### 臨床化学検査

生体の化学成分や、ホルモンなど、臨床化学検査の測定項目数は最も多く、検査材料には血液（大部分は血清）や尿のほか、胸水、腹水、髄液などが使用されます。

（TP、BUN、UA、T-Cho、TG、Glu、AST、ALT、LDHなど）

### 免疫血清検査

抗原あるいは抗体を検出する手段として、発展してきた分野であり、抗原抗体反応の特異性を利用して他の検査分野にも応用されています。感染症の検査、自己免疫疾患の検査、妊娠反応、輸血検査などがあります。

（HBs抗原、HCV抗体、梅毒検査、HIV、腫瘍マーカー、自己抗体、免疫学的検査など）

### 一般検査

試料中成分の化学的検査と細胞や寄生虫などを顕微鏡下で観察する形態検査に大別されます。最も依頼頻度の高い検査材料は尿ですが、便、髄液、穿刺液の検査も行われています。

### 一般細菌検査・抗酸菌検査

細菌検査室は肺炎、抗酸菌症の原因菌を喀痰などの検体をスライドガラスに塗りつけ、菌を特殊な染色液で染めて、原因菌が存在するかを調べたり、あるいは培養検査と呼ばれる方法や薬剤感受性試験、PCR検査を行い原因となる菌名やどんな抗生剤に効くのかを調べています。

### 病理検査

患者様から採取された組織や細胞から顕微鏡標本を作り、それを病理医が観察して、どのような病気であるかを診断する検査で病気の診断確定や病気の広がり、病気の性質などが判ります。それらは患者様の

治療方針の決定や治療の効果がどれくらいあったかなどの判定をするために利用されています。

## 8. 新型コロナウイルスPCR検査

PCRとは、「Polymerase Chain Reaction（ポリメラーゼ連鎖反応）」の頭文字をとった略称です。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）におけるPCR検査では、新型コロナウイルス遺伝子を増やすことで、ウイルス遺伝子を検出します。

# 新型コロナウイルス感染症対応 最新情報

## カートを導入しました♪



コロナ病棟は、玄関から600m離れたところにあります。

今までは、コロナ病棟まで雨の日も傘をさして歩いてもらっていましたが、これからはこのカートで患者さんを搬送することができます。



# 着任ご紹介



内科医師  
真鍋昌平

皆様こんにちは！4月1日付で着任いたしました内科医師の真鍋昌平と申します。

初めての転勤に不安に感じることはたくさんありましたが、当院のスタッフや患者様がその不安をすぐに払拭してくださりました。挨拶が行き交う院内、フラットな関係で意見を出しあうことのできる環境、コメディカルスタッフとの頻回のカンファレンス等コミュニケーションの場を非常に多く感じました。

このような明るい環境で仕事ができていることに感謝しながら、その明るい雰囲気構成の一員として頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



脳神経内科  
田中真理子

7月1日付で着任いたしました田中真理子と申します。

脳神経内科を専門とし、主に神経・筋疾患の診断・治療を行ってまいりました。

当院では、病気だけではなく、難しい病気を抱える患者さまやそのご家族に寄り添いながらより良い医療を提供できればと考えております。

どうぞよろしくお願いたします。



内科医師  
中村真弥

7月1日付で内科医師に着任いたしました中村真弥と申します。大学で研修を3年、その後市立奈良病院の呼吸器内科で肺癌や間質性肺炎を中心に2年間、田北病院で高齢者を中心に一般内科を2年間勉強してまいりました。結核、COVID-19診療に関しては経験が乏しく、玉置先生をはじめ諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りながら勉強させていただきたいと思い、当院への移動を希望いたしました。まだまだ若輩ものですが、フットワークの軽さを生かして病院のあちこちに顔を出しながら日々の診療に邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



内科医師  
富田 大

この度、7月1日付で奈良県立医科大学附属病院から着任致しました富田大と申します。

滋賀医科大学出身で研修病院も滋賀ですが、ご縁があり奈良県で勤務させて頂くこととなりました。

皆様のお役に立てるように努める所存です。

新しい職場に慣れるまでは何かとご迷惑をおかけしますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

着任のご挨拶を申し上げます。

# きよ女性クリニック

清塚 康彦院長

当院は奈良市石木町にあり、婦人科・産科・内科の診察を行っています。月経やおりもののトラブル、乳房の痛みやしこり、腹痛、外性器の痛みやかゆみ、排尿痛・尿失禁、避妊や不妊などの女性のお悩み全般に対応しています。また国立奈良医療センター内のバンビ病棟にて重症心身障害者の女性への婦人科検診を10年以上行っております。

活力溢れる地域社会の実現には医療と介護の連携が必須であると思い、6年前から訪問リハビリを開始しました。現在13名のセラピストが集い、専門性と総合性を融合したリハビリを行っています。医療-介護連携への多面的取り組みとして、リハビリデイサービスKiyoriリハビリPROSと業務提携を交わし、脳卒中・パーキンソン病専門リハビリの開発など、患者様と利用者様の病期や障害の程度に合わせたサポート体制を共同で構築しています。今後も医療と介護の垣根を飛び越え、皆様のご期待に添えるよう取り組んでまいります。



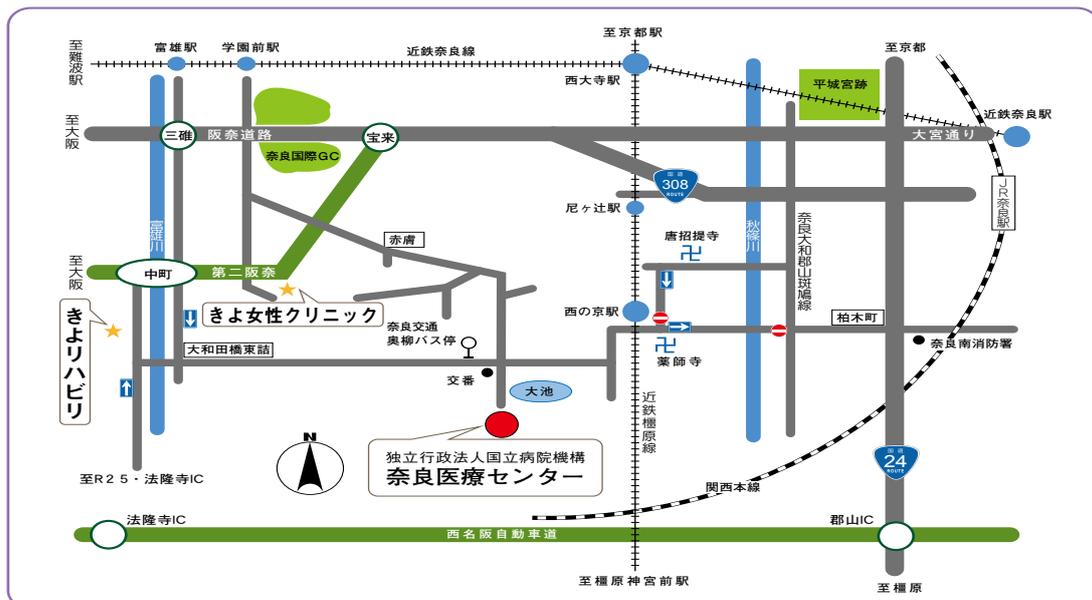
## 《きよ女性クリニック》

診療科目 婦人科・産科・内科  
病理診断科・訪問リハビリ

診療時間 9:00~12:00 17:00~20:00 休診 木・土曜日午後、日曜・祝日  
TEL: 0742-53-0411

## 《KiyoriリハビリPROS》

利用日 月~金曜・祝日 休館日 土・日曜  
利用時間 8:45~12:00 13:45~17:00 TEL: 0742-45-2620



独立行政法人 国立病院機構  
**奈良医療センター**  
地域医療連携室

〒630-8053  
奈良市七条2丁目789  
TEL.0742-45-4591 (代表)  
TEL.0742-45-1563 (直通)  
FAX.0742-45-4901 (直通)